

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒261-0014
千葉県千葉市美浜区若葉1丁目3番地

E-mail : kokusai@shibumaku.jp
Website : http://www.shibumaku.jp

児童生徒数：男子1315名 女子 599名 合計1914名
児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (ESD、異文化理解)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

・模擬国連活動（地球規模の問題に対する国連システムの理解）

模擬国連活動は6年前から取り組みを始めた。生徒が一国の大使としての役割を持ち、国連における議決のプロセスを学びながら国際問題の解決法を考える場として、本校でも定着をしてきている。校内練習会、他校との合同練習会などを経て全日本大会に出場を希望する生徒も数多くいる。幸いにも5年連続で全日本大会において優秀賞を得ることができ、国際大会に参加する。

生徒は単に賞を得ることのみ目的とするのではなく、この活動を通して国際的な視野に立ち、世界で起きている様々な問題についての意識を高めることができる。さらに他校や海外の学校の生徒との交流の場にもなり、より平和な世界を築くための礎となる。

・できることからESD（ESD関連活動）

現在の中学2年が学年として取り組んでいる活動で、2年目となる。

ESDという言葉は難しい響きを持つが、実は材料はごく身近にあることを示し、個人として、家庭として、学校として取り組むことができるテーマを一人ひとりが考えつつ、記録を積み重ねている。生徒の考えるテーマは文化財保護、廃棄物問題、エネルギー問題、生態系など様々である。

研修旅行などの行事に際してもESDの視点から研究をする生徒もおり、ごく自然にESDが浸透していくことを狙いとしている。

・サイエンスキャンプ

6月にシンガポールで行われたサイエンスキャンプに3名の生徒が参加した。これは、“Science for Humanity”というテーマのもとに、より良い未来を築くために科学がどのような貢献ができるか、様々な活動を通じて世界の高校生と共に考える場である。犯罪科学、食品科学、障害者のための補助工学などのワークショップ参加や自然保護区を訪れての生態系の観察、最先端の研究所訪問などが含まれ、生徒は他国の高校生たちと議論を行った。

また、各学校にはプレゼンテーションが義務づけられ、本校生徒はペルチェ素子という、電流を流すと温度を下げるることができる素子に着目し、アプリケーションの開発理論を紹介した。理論が応用され実用化できれば、例えば魔法瓶の蓋などに取り付けることにより、長時間暖冷たさを保つことができ、電流は太陽光を利用することで災害時などに役立てることができると考えた。

・異文化理解、国際理解教育

中学3年でニュージーランド研修、高校1年でアメリカ研修、シンガポール研修、ベトナム研修、イギリス研修を行っている。また、ニュージーランド、シンガポール、北京からホームステイを含む来日生の受け入れを行っている。

第二外国語として中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ハンガルの講座を設けている（放課後）。

